

# 「森と水と命の惑星」国際会議

## ～地域と世界の心と魂を詠む～



# 梅下村塾

53

塾長 梅内 拓生

(自と他の関係を知  
る)

(小田原悦子)

みさご句会 7月旬  
会 兼題「端居」雑詠  
7月26日第5面

「仮の世と思ひ仮設の  
夕端居」  
「荒梅雨や錆に太りし  
捨錨」

(上部 素間)

3・11の大津波で家  
が流されて仮設住宅に  
入っている。夕方に狭  
い仮設住宅の硝子戸を  
あけて、いろいろな思  
いにふけている。津  
波で陸に打ち上げられ  
て錆ついている錨のよ  
うに朽ちてしまふの  
か、意を決して立ち上  
がるべきか、がれきの  
街後には灯りがともっ  
ている。

夕空に遠き日重ね端  
居かな

「シーソーと小さき手  
にも若葉風」

「自と他の関係を知  
る」  
「シーソー遊びの孫兒  
の小さな手を若葉の風  
が吹きなでる。家に帰  
り、縁先に座って夕空  
を眺めると空の彼方へ  
の思いと自分の心の奥  
の思いが重なってく  
る。小さき孫兒への思  
いと自分の人生とがつ  
ながった世界が浮かん  
でくる。」

「焦点を合わすものな  
き端居かな」  
「女郎蜘蛛たる予感の  
縞模様」  
(舟野 広)

「気仙坂」では「肉体  
を使う作業はそれがス  
ポーツあれ仕事であ  
れ、極めて大事な一事  
はそれが物理的である  
かどうかということだ  
っている。」

「気仙坂」では「肉体  
を使う作業はそれがス  
ポーツあれ仕事であ  
れ、極めて大事な一事  
はそれが物理的である  
かどうかということだ  
っている。」

「気仙坂」では「肉体  
を使う作業はそれがス  
ポーツあれ仕事であ  
れ、極めて大事な一事  
はそれが物理的である  
かどうかということだ  
っている。」

「気仙坂」では「肉体  
を使う作業はそれがス  
ポーツあれ仕事であ  
れ、極めて大事な一事  
はそれが物理的である  
かどうかということだ  
っている。」

第2面の「気仙坂」に  
は米国大リーグで活躍  
中のイチロー選手の記  
事が掲載されている。  
「イチローという逸材  
が与えてくれるもの」  
という見出しで、「実  
績なきものは去る」事  
が当たり前の米国自由  
市場資本主義の厳しい  
現実を述べている。  
イチロー選手はマリ  
ナーズという弱小チー  
ムで活躍し、自己の業  
績を積み重ね、それが  
チーム全体の業績にも  
つながっていた。しか  
し年齢と肉体の限界を  
認識して、その中で野  
球の技量を最大に発揮  
できる「場」を求めて  
ニューヨークヤンキ  
ーズという強力なチー  
ムに移った。  
これは米国プロ野球  
世界のなかで、自分と  
他との関係、即ち自分  
の技量の発揮できる  
「場」を米国プロ野球  
世界の合理性に叶った  
仕方で行ったことであ  
る。  
「気仙坂」では「肉体  
を使う作業はそれがス  
ポーツあれ仕事であ  
れ、極めて大事な一事  
はそれが物理的である  
かどうかということだ  
っている。」

「気仙坂」では「肉体  
を使う作業はそれがス  
ポーツあれ仕事であ  
れ、極めて大事な一事  
はそれが物理的である  
かどうかということだ  
っている。」